

**< 報道発表資料 >**

平成 29 年 9 月 28 日

**県内市町村の平成 28 年度公営企業決算概要（速報）****他会計への依存が低下したものの、****将来を見通した経営が求められる**

県内市町村（40 市 22 町 1 村。政令指定都市であるさいたま市を含む。）の平成 28 年度地方公営企業の決算について、その概要をまとめましたので報告いたします。

**1 特徴**

新病院の建設完了のほか、下水道事業における料金改定に伴う使用料収入の増加により、一般会計からの繰入金が増加するなど、他会計への依存が低下しました。

ただし、今後、人口減少に伴う料金収入の減少や施設老朽化に伴う更新投資額の増大等が見込まれるため、さらなる経営改善に努め、将来を見通した経営が求められます。

**2 決算規模**

4,432 億 3 千 4 百万円（対前年度 60 億 8 千 6 百万円、 1.4%）

63 市町村 225 事業の決算規模は 4,432 億 3 千 4 百万円で、前年度に比べ 60 億 8 千 6 百万円減少（ 1.4%）しています。これは、病院事業における建設投資額が減少したことや下水道事業における企業債の償還が減少したことが主な要因です。

**3 全体の経営状況**

280 億 1 千 8 百万円の黒字（対前年度 9 億 9 千 4 百万円、 3.4%）

公営企業全体の総収支額は 280 億 1 千 8 百万円の黒字で、前年度に比べ 9 億 9 千 4 百万円減少（ 3.4%）しています。これは、病院建設に伴う旧病院施設の除却による特別損失が増加したことが主な要因です。

また、黒字事業は 210 事業で全体の 93.3%を占めており、前年度に比べ 1.0 ポイント減少しています。

## **4 料金収入**

2,610 億 8 千 6 百万円 (対前年度 +16 億 1 千 5 百万円、+0.6%)

料金収入は 2,610 億 8 千 6 百万円で、前年度に比べ 16 億 1 千 5 百万円増加(+0.6%) しています。これは、下水道事業において料金改定が行われたことにより、使用料収入が増加したことが主な要因です。

事業別にみると、水道事業が最も多く、次いで下水道事業、病院事業となっています。

## **5 企業債現在高**

1 兆 780 億 2 千 8 百万円 (対前年度 247 億 7 千 5 百万円、2.2%)

平成 28 年度末における企業債現在高は 1 兆 780 億 2 千 8 百万円で、前年度に比べ 247 億 7 千 5 百万円減少(2.2%) しています。企業債現在高の減少は平成 14 年度から 15 年連続です。

## **6 他会計繰入金**

716 億 7 千 7 百万円 (対前年度 62 億 3 千 3 百万円、8.0%)

他会計からの繰入金総額は 716 億 7 千 7 百万円で、前年度に比べ 62 億 3 千 3 百万円減少(8.0%) しています。

これは、新病院の建設完了に伴い繰入金が減少したことや、下水道事業における使用料収入の増加に伴い繰入金が減少したことが主な要因です。

## **7 建設投資額**

1,234 億 4 千 3 百万円 (対前年度 51 億 6 千 1 百万円、4.0%)

建設投資額は 1,234 億 4 千 3 百万円で、前年度に比べ 51 億 6 千 1 百万円減少(4.0%) しています。

## **8 累積欠損金**

151 億 3 千 8 百万円 (対前年度 +24 億 4 百万円、+18.9%)

累積欠損金は 151 億 3 千 8 百万円で、前年度に比べ 24 億 4 百万円増加(+18.9%) しています。

事業別にみると、病院事業が最も多く、次いで下水道事業、水道事業となっています。

## **9 資金不足比率**

財政健全化法に基づく資金不足のある公営企業会計はありません。

詳しい資料は、市町村課のホームページに掲載しています。

URL : <http://www.pref.saitama.lg.jp/a0107/koueitantou/h28kouei-kessan.html>